

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年12月11日

計画の名称	宮崎市田野地区(3期)都市再生整備計画													
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	宮崎市													
計画の目標	大目標：自然豊かな地域で活動的に健康で暮らせる魅力あるまちづくり 目標1：安全で安心して歩いて暮らせるまちづくり 目標2：若者の地区内定住促進による地域全体で高齢者を支え合えるまちづくりの実現及び地域医療体制の強化													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		844	A	844	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H30末	H32末
1	旧田野町の人口、JR田野駅の利用者ともに近年の傾向が減少基調にある中で、本計画による安全・安心に歩いて暮らせるまちづくりや定住化の促進による田野駅へのアクセス向上により、利用者の維持を目指す。			
	JR田野駅の一般・定期を合わせた1日あたりの平均乗車人数	672人	672人	672人
2	宮崎市田野町、都市再生整備計画区域内の人口ともに近年の傾向が減少基調にある中で、都市基盤の整備や快適な居住環境の整備により定住化を促進し、減少幅の半減を目指す。			
	田野町域の居住人口	11158人	11093人	11015人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------



交付金の執行状況

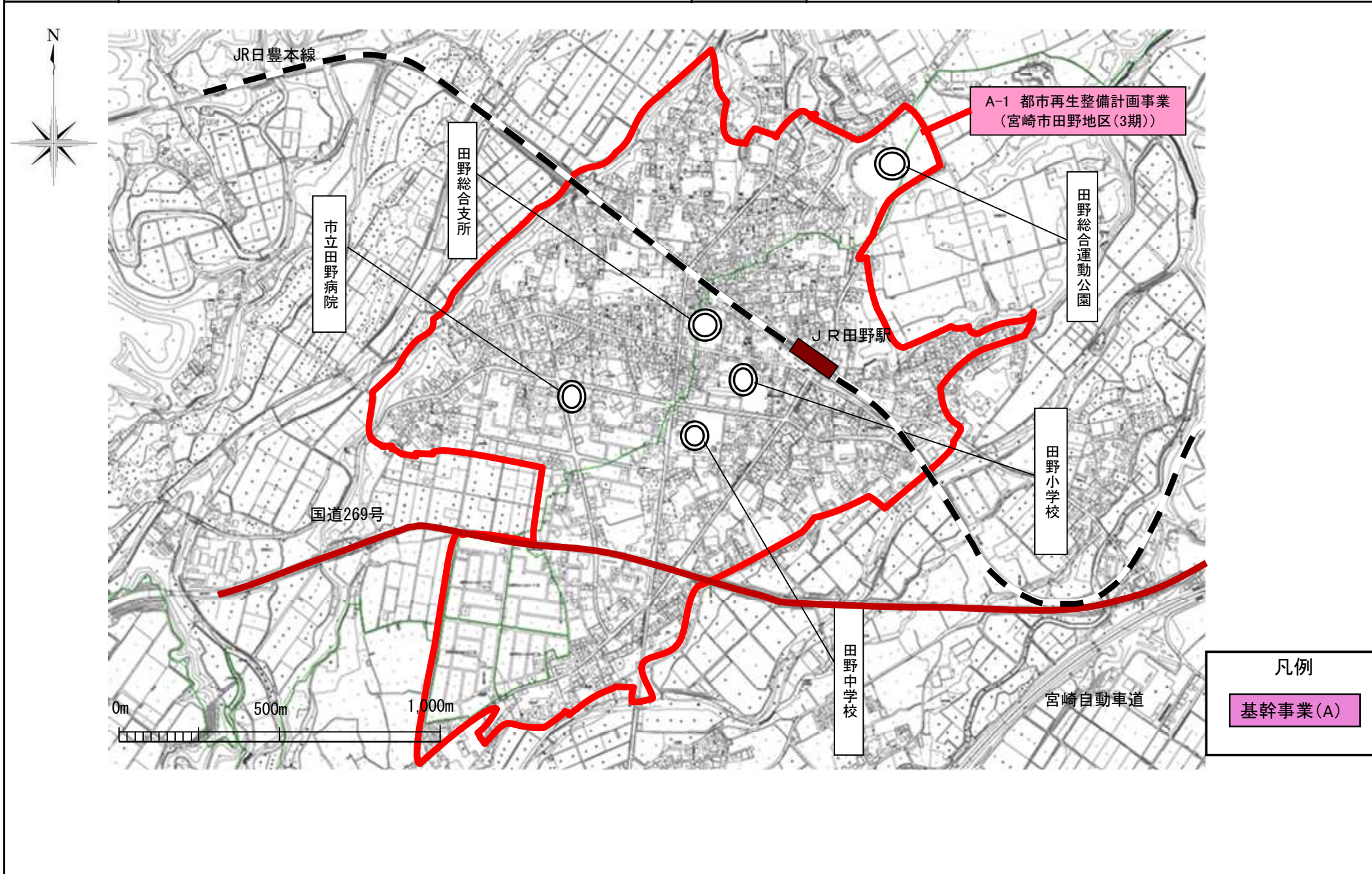
(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	126.400	109.200	23.400	24.600	
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	1.398	1.647	
交付額 (c=a+b)	126.400	109.200	24.798	26.247	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	8.155	41.200	16.209	
支払済額 (e)	118.245	76.155	49.789	33.268	
翌年度繰越額 (f)	8.155	41.200	16.209	9.188	
うち未契約繰越額 (g)	0.000	16.306	10.740	2.349	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	13.9%	16.3%	5.5%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由		公共補償の相手方の会計年度の関係上、次年度の契約となったため。	家屋移転交渉において、時間を要したため。		

※ 平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	宮崎市田野地区(3期)都市再生整備計画	交付対象	宮崎市
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)		



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 宮崎市田野地区（3期）都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

